様式2

平成29年度　美幌版総合戦略に係るH28事業実施結果報告

（各事業における実績額及び事業効果等）

基本戦略1

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額 過年度	実績額	後年度	予算額	③ 本事業における重要業績評価指標（KPI） 指標		指標値	単位	目標年月	④ 本事業前の実績値 H27実績値	⑤ 本事業終了後における実績値 H28実績値	事業効果	⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価 事業の評価	外部有識者からの意見	⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針	今後の方針の理由
みらい農業センター	1	新規就農者確保・育成等総合支援事業（農業経営者育成事業）	【①新規就農研修生の育成】農業機械の操作技術向上、栽培技術・知識の習得、営農・資金計画の樹立に向けた実践的な研修を実施するとともに経営継承方式による就農を円滑に進めるための総合的な支援体制を構築する。【②農業後継者の育成】冬期農業講座を開催し、農業技術力・経営能力の向上を図る。	H27年度	6,884,231	指標①	新規就農研修生	1	戸	H29.3		1	指標値を達成し事業効果があった	①経営継承方式による新規就農は、資産一括譲渡により新規就農者、離農者、双方にメリットのある仕組みであり、経営基盤を持たない新規就農者の経営安定化が早期に図られる手法である。また、新規就農者の確保は今後の農地流動化及び農家戸数減少対策となっていることから事業効果は高い。（H28年度.研修生：1名、研修2年目を計画通り実施）②本年度における冬期農業講座は講座内容の充実化が図られたことにより受講者数で昨年の延べ25名から延べ64名と大きく増加したことから事業効果は高い。	（1）新規就農予定者の農業研修支援事業補助金：540,000円（2）各種研修等報償：15,000円		指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	実績値から本事業が効果的であることから事業を継続し、地域農業の担い手確保及び人材育成を更に強化する。
						指標②	冬期農業講座受講者数	50	名（延べ）	H29.3		64										
				H28年度	5,536,083	指標③																
				H29年度	7,421,000	指標①	新規就農研修生	1	戸	H30.3												
						指標②	冬期農業講座受講者数	50	名（延べ）	H30.3												
みらい農業センター	1	新規就農者確保・育成等総合支援事業（農家青年配偶者対策事業）	農業センター実習と農家実習を自由に組合せできる仕組みの農業体験実習生受入事業は担い手対策協議会を通じて実施し、農業に興味を持った女性実習生を積極的に受入する中で、農業体験を通した農家青年との交流の場を自然な形で設定し、農家青年の成婚率向上を図る。	H27年度	7,121,619	指標①	農業体験実習生	3	名	H29.3		4	指標値を達成し事業効果があった	・農業体験実習生4名を受け入れし、独身農家青年宅での農家研修を実施した。交際には発展しなかったが、農家青年との交流の場を設定することができた。平成27年度、実習生のうち1名が実習終了後、本町へ移住を果たし、実習中に親交のあった農家青年と交際中であることを例に挙げると事業の継続化により、その効果が現れることから事業効果は高い。	農業担い手対策協議会負担金：1,732,000円		指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	実績値から本事業が効果的であることから事業を継続し、農業体験の場を提供する中で農家青年との交流の機会を設定し、成婚率向上を図る。
						指標②																
				H28年度	6,719,996	指標③																
				H29年度	10,802,000	指標①	農業体験実習生	3	名	H30.3												
みらい農業センター	1	新規就農者確保・育成等総合支援事業（農業振興事業）	独自性と有益性を兼ね備えた新規作物や新たな栽培技術を地域へ提案、普及するべく各種試験栽培に取り組み、研究・調査を実施する。また、新たな特産品として知名度が高まりつつある「伏せ込みアスパラガス栽培」については、早期出荷と高収化の両立化を図る難題に取り組んでおり、引き続き研究・調査を継続するとともに関係機関と連携し、生産者戸数増加に向けた普及推進を図る。	H27年度	9,732,879	指標①	伏せ込みアスパラガス栽培戸数	6	戸	H29.3		7	指標値を達成し事業効果があった	・7戸の生産者によって取り組まれている日本唯一の11月初旬出荷のアスパラガス冬季栽培は市場において、その希少価値が高く評価され、破格の価格で流通している。生産者7戸では少ない印象を持たれるが、本町農業は大規模畑作経営が主体の地域であり元来、施設園芸作物は普及しにくい環境の中、本町農業史上初の冬季野菜生産となる本栽培の7戸は異例であり道内産地では最多である。よって、その事業効果は高い。	消耗品費：3,605,195円		指標値を達成し事業効果があった	高校との連携を含め、更なるブランド化を図ること。	事業の継続	実績値から本事業が効果的であることから事業を継続し、道内最先端の冬季生産アスパラガス栽培技術の研究に取り組み、更なるブランド力向上を下支えする。
						指標②																
				H28年度	10,498,150	指標③																
				H29年度	10,473,000	指標①	伏せ込みアスパラガス栽培戸数	7	戸	H30.3												
農政担当	2	地域しごと支援事業	本町においても農業後継者不足が問題となっており、農業後継者確保が課題となっていることから、経営継承できる農家子弟と農外から新規参入する新規就農者に対し、就農支援を行うことにより、農業後継者確保と本町農業の持続的発展を図ります。	H27年度	3,000,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H29.3	4	9	指標値を達成し事業効果があった	新規就農者や新規農業従事者に対し就農支援を行うことにより、農業後継者を確保することが出来た。	（1）就農奨励補助金　　：7,144,367円（2）農用地賃貸料補助金：　519,696円（3）経営安定補助金　　：　　3,264円（4）青年就農給付金　　：1,500,000円	〇新規農業従事者９名　学卒　５名、 Uターン　４名	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	新規就農者や新規農業従事者等を確保し、本町農業の持続的な発展を図るため。
						指標②																
				H28年度	9,167,327	指標③																
				H29年度	13,423,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H30.3												
森林担当	3	森林認証材活用促進事業	付加価値促進を図るために森林認証材買取時に上乗せを行い、認証の普及促進を図る。（補助率1/2、事業者の連携が条件、上限250万円）	H27年度	2,602,664	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H29.3	5,371	4,398	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	森林認証材を、住宅供給のため計画的及び使用量調整を行い、産出したため指標値を下回ったものです。なお、認証材住宅は着実に効果を上げています。	製材：3,353.023m3×1,000円×1／2ダンネージ材：267.988m3×600円×1／2パルプ材：777.763m3×400円×1／2皆伐：5契約　　間伐：4契約	計画的に伐採を行っているため、指標値と異なる。	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業の継続	実績値により、本事業が効果的であったため、継続的な取組をすることで、森林認証区域の拡大を推進する
						指標②																
				H28年度	1,912,457	指標③																
				H29年度	2,500,000	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H30.3												
森林担当	4	美幌町産材活用促進事業	美幌町産FSC森林認証材の利用促進により、森林資源の地産地消の推進・町内経済の活性化・町内住宅の良質な住環境整備を図る。	H27年度	12,840,000	指標①	建築住宅戸数	10	棟	H29.3	17	10	指標値を達成し事業効果があった	美幌町全体の住宅建築戸数が減少していますが、その中でも森林認証材使用戸数は美幌町全体の65%を認証材を使用した住宅であり、事業効果はありました。	補助金　8,280,000円 認証材使用量：212.7242m3 町内工務店実施率：65% （全体 23戸÷町内 15戸＝ 65.2% 内認証材使用戸数　10戸）	建築住宅戸数・認証材使用量は、その年の状況で変わるため、増減はありますが、これを行うことにより事業効果・町内循環システム等の効果を検証いただきたい。	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	実績値により、本事業が効果的であったため、対象拡充を図り、美幌町産FSC森林認証材の利用促進及び町内住宅の良質な住環境整備を更に発展させる
						指標②	森林認証材使用量	212	m3	H29.3	325	212										
				H28年度	8,280,000	指標③																
				H29年度	17,400,000	指標①	建築住宅戸数	20	棟	H30.3												
						指標②	森林認証材使用量	400	m3	H30.3												
森林担当	5	森林認証材ブランド化推進事業	美幌町産FSC森林認証材を使用して、価値の高い建材等にするため、新たな乾燥技術（コアドライ）を取り入れ、FSC認証材の地域ブランド化を目指し、販路開拓及び町内外へ普及・PRを図る。（平成27年度国の補正予算に伴い、町でも平成27年度繰越明許費である。）また、美幌町産FSC森林認証材を使用した新製品の開発を行う。	H27年度	0	指標①	コアドライ材加工量	30	m3	H29.3		55	指標値を達成し事業効果があった	今後、FSC認証コアドライ材の普及促進を図っていきます。	地方創生加速化事業「森林認証材ブランド化推進事業補助金」 町→森林組合への委託事業 委託料「8，669，000円」 コアドライ構造材試験研究費 コアドライ技術検査・登録 コアドライ活用住宅模型製作 コアドライの普及・PR・販路拡大 等		指標値を達成し事業効果があった	積極的なPRと町内外への普及を図ること。	事業の継続	FSC認証コアドライ材を町内外の新築住宅へ普及させ地域循環を図っていく。
						指標②	FSC認証コアドライ材 ﾓﾃﾞﾙﾊｳｽ	2	棟	H29.3		2										
				H28年度	8,669,000	指標③																
				H29年度	1,000,000	指標①	新開発製品	10	品	H30.3												

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				過年度	実績額	指標		指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果				事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
				後年度	予算額															
森林担当	6	はじめての木づかい事業	1歳を迎えるお子さんを対象に美幌町産FSC森林認証材を使用した木製品をプレゼントすることで、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」感情豊かな心を育む木育活動を推進する。	H27年度	653,400	指標①	木製品贈呈数	140	人	H29.3	121	112	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	対象者の減少により指標値を下回っているが、事業効果としては、大変喜ばれています。	消耗品費　604,800円 内訳：積み木セット　46コ 車パズルセット　20コ 魚釣りセット　35コ お椀セット　11コ　計112個	住所異動（転出等）を除けば、対象者に対してほぼ連絡を受けて、プレゼントを贈呈できました。	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	「輪投げ」や後々使えるような「写真立て」など、新商品の研究・開発の推進を図ること。	事業内容を見直し発展させる	実績値により、本事業を通して木育活動を推進し新商品開発を視野に入れ、美幌町産森林認証材で作られた木製品を発展させる
						指標②														
				H28年度	604,800	指標③														
				H29年度	756,000	指標①	木製品贈呈数	140	人	H30.3										
森林担当	7	林業館管理事業	美幌林業館きてらす（美幌駅併設）の維持管理を行う。（平成27年度は、林業館改修事業として、当該施設の改修を行い「木育ひろば」を設置するものも含む）	H27年度	39,415,810	指標①	来館者数	25,000	人	H29.3	20,437	29,638	指標値を達成し事業効果があった	美幌林業館は昭和63年3月に設置され26年が経過していたが、当該施設の改修を行ったことにより、子供達が屋内で木の遊具等で遊べる「木育ひろば」を設置することができた。 美幌町内だけでなく、町外からの利用者も多く、目標値を大きく上回り、認知が高いことが伺えた。	施設管理委託料　3,098千円 内訳：施設維持管理費　537千円 施設用燃料費　372千円 修繕料　50千円 人件費　1,950千円 事務費　189千円	月ごとにはバラツキはありますが、来館者数は年間通しては大体一定している。	指標値を達成し事業効果があった	小学3年生以上と幼児とでは遊び方が異なる上、広さ的に小学3年生以上が安心安全に遊べる施設整備を検討すること。	事業の継続	実績値により、本事業は非常に効果的であったため、来館者の把握及びニーズを収集し、より安心安全な木育広場を提供できるように更に維持管理を発展させる
						指標②														
				H28年度	3,098,000	指標③														
				H29年度	3,604,000	指標①	来館者数	26,000	人	H30.3										
観光担当	9	観光振興事業	観光入込客数のさらなる増加のため、各関係団体との連携を図り、美幌町の個性や特色を活かした観光振興施策を展開し魅力ある観光地づくりを実施するとともに、さらなる情報発信を図る。 29年度は国の事業である「阿寒国立公園満喫プロジェクト」において、国・道・町が連携しながら観光客の更なる集客に向けて美幌峠園地の整備等を図る。	H27年度	3,113,607	指標①	観光入込客数	810,000	人	H29.3	806,390	712,930	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	H28は道東を襲った台風等の影響が大きく、目標を下回ったが、美幌峠イベントの実施など、各関係団体と連携を図り、観光入込客数増加のための事業を推進した。			指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業内容を見直し発展させる	既存の観光資源の磨き上げを行いつつ、新規の観光資源を育て、入込数の増加を図る。
					(14,564,239)	指標②														
				H28年度	2,643,455	指標③														
				H29年度	53,581,000	指標①	観光入込客数	810,000	人	H30.3										
観光担当	10	空港交通利便性向上事業	女満別空港発、美幌駅経由美幌峠行きバスについて、継続運行を図るとともに利用促進に向けて情報発信に努める。	H27年度	800,000	指標①	利用者	400	人	H29.3	420	384	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	H28は観光シーズンにおける台風の影響が大きく目標を下回ったが、各関係団体と連携を図り利用促進に向けた情報発信に努めることにより、ある程度の効果あったものと思われる。	バス運行維持負担金 756,000円 （株）阿寒バス（株）	7月16日～10月10日（87日間）、1日2往復の利用者数	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	利用率向上を向けたPRの工夫を行うこと。	事業の継続	関係機関と協議し、周知方法など改善しつつ、さらにたくさんの方が利用しやすくなるよう検討する。
						指標②														
				H28年度	763,600	指標③														
				H29年度	1,180,000	指標①	利用者	400	人	H30.3										
広報担当	11	まちのセールスマン事業	美幌町の景観や公共施設、特産品などを掲載したミニPR紙を作成し、美幌町民が町外・道外で名刺等を配る際に活用してもらい、町全体で美幌町のPRを図る。	H27年度	－	指標①	町民配布枚数	20,000	枚	H29.3	－	9,610	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	配付希望者の内訳として、町職員12名、議員4名、会社等9件、個人21名となっている。会社や個人の希望者割合が多く、様々な分野の方々に、広いPR活動を行えた。	印刷製本費　：　453,600円	平成28年度 名刺作成枚数　12,000枚 配付枚数　9,610枚	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	ロータリークラブなど、町外との交流が多い団体に利用してもらうようPRを行うこと。	事業の継続	引き続き新聞や広報、HP等による町民への事業周知を行い、より多くの町民に利用してもらう。
						指標②														
				H28年度	453,600	指標③														
				H29年度	378,000	指標①	町民配布枚数	10,000	枚	H30.3										
計画担当	12	広域連携交流推進事業	オホーツク15町村と東京23区（江東区）の都市部との連携により、農林水産物を通した消費地との交流・PRや地域に密着した体験観光・お試し暮らし等を通じた交流人口の増加を推進する。 また、オホーツク地域が一体となって、イメージ戦略を推進することにより、都市部への知名度向上を目指し、交流人口の増加や物産交流へとつなげていく	H27年度	0	指標①	連携事業取組件数	1	件	H29.3	－	1	指標値を達成し事業効果があった	28年度は東京都江東区とオホーツク管内15町村が交流連携事業として、江東区での環境フェア出展及び江東区職員のオホーツク管内視察研修を行い、今後の継続と推進について協議を行った。	28年度はオホーツク町村会が国交付金を活用したため、町村の負担金なし。	平成28年6月5日江東区環境フェア 平成29年1月25日～27日江東区職員のオホーツク管内視察研修	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	管内市町村と連携し、更なる展開を図る。
						指標②														
				H28年度	0	指標③														
				H29年度	681,000	指標①	連携事業取組件数	2	件	H30.3										
商工担当	13	元気な起業家応援事業	・起業・創業に必要な経費の支援（補助率2/3） ・空き店舗家賃補助（補助率10/10） ＊上記2項目の併用を可とし、合わせて200万円の限度額	H27年度	11,820,279	指標①	起業・創業支援件数	3	件	H29.3	6	4	指標値を達成し事業効果があった	起業資金の支援により、起業への後押しが出来、新規業種を含め4件の実績となった。	起業家支援事業補助金　:8,000,000円	〇飲食店　2件(焼肉屋・パン屋) 〇家具屋(製造販売)　1件 〇アクセサリー店(製造販売)　1件	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	雇用の創出により地域経済の活性化が図られるため。
						指標②														
				H28年度	8,000,000	指標③														
				H29年度	6,000,000	指標①	起業・創業支援件数	3	件	H30.3										
商工担当	14	中小企業利子補給等制度のうち新規起業家融資制度	中小企業を支援するための制度のうち、新規起業家を応援するための事業。起業する方の支援として、運転資金2,000万円、設備資金3,000万円以内の融資を実施する。また、利子補給20%、保証料100%を償還年次分割給付を実施する。	H27年度	0	指標①	融資件数	2	件	H29.3	0	0	指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	融資希望者が居なかったため実績は無かったが、当該制度を維持することにより新規起業への後押しが図られると考える。 （平成27年度からは起業する際に、当該融資を受けるより、自己資金と「元気な起業家応援事業」における補助金で起業できたため、希望者がいなかった。）			指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）		事業の継続	制度の継続により起業・創業支援を図る。
						指標②														
				H28年度	0	指標③														
				H29年度	預託額（316,000千円）の4倍枠	指標①	融資件数	2	件	H30.3	※融資は預託金から支払われる									
商工担当	15	がんばる商店街応援事業	専門家による経営指導、店舗のイメージアップに要する経費への支援：補助率1/2、上限100万円	H27年度	20,147,000	指標①	リフォーム件数	20	件	H29.3	31	27	指標値を達成し事業効果があった	店舗機能の維持・向上とともに、店舗のイメージアップにより、商店街における集客数が増加が図られ、今後においても経営の安定化が見込まれる。	店舗リフォーム促進支援事業補助金 ：　19,156,000円	〇飲食店 13件 (スナック・バー8・カフェ1・食堂3・焼肉屋1) 〇自動車等販売・整備業 3件 〇菓子製造販売業 1件　〇薬局 1件 〇家具販売 1件　〇燃料店 1件 〇自転車販売店 1件　〇総菜店 1件 〇新聞販売所 1件　〇電器店 1件 〇理美容業 2件　〇釣具店 1件	指標値を達成し事業効果があった		事業の継続	商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られるため。
						指標②														
				H28年度	19,156,000	指標③														
				H29年度	15,000,000	指標①	リフォーム件数	15	件	H30.3										
商工担当	16	美幌町商店街活性化事業 ↓ 商店街イベント事業（H29年度）	商店街を活性化するためのイベントへの支援	H27年度	5,397,828	指標①	イベント件数	5	件	H29.3	―	5	指標値を達成し事業効果があった	各イベントとも多くの町民が足を運び、各イベントにおいて販売促進へと繋がった。	商店街活性化事業補助金 ：2,210,000円	〇北1丁目ナイターセール 〇中央商店会おまつり広場 〇生き活き商店街夏の感謝祭 〇新町ふれあいゆうゆう祭 〇スマッピーカードびほろ年末年始大売り出し	指標値を達成し事業効果があった		事業内容を見直し発展させる	更なる事業効果の向上を目的としてイベント内容の見直しを図り実施する。
						指標②														
				H28年度	2,210,000	指標③														
				H29年度	3,050,000	指標①	イントシール消費枚数	120,000	枚	H30.3										
						指標①	抽選会来場者数	1,500	人	H30.3										